

| | | | |
|-----------|------------|------|----|
| 講義名 | リゾート論 | | |
| 担当教員 | 辻本 千春 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 2時限 | 授業形態 | 講義 |
| 履修開始年次 | 2年生 | 単位数 | 2 |

主題と概要

現在、世界の観光において、年間的13億人が国境を越えて国際観光客として観光を行っています。その中で世界全体の国際観光客到着者数の51%（2018年、UNWTO）がヨーロッパに向かっています。いろいろなる理由がありますが、大きな理由の一つは、地中海沿岸に広がる海浜リゾート地です。ヨーロッパに比べると日本のリゾート地は知られていますが、リゾートとは、そもそも何なのか、その歴史や意義、世界のリゾート地の成り立ちを多角的に分析します。大きく分けて、リゾートの概観と歴史、海外のリゾート地の開発形態と現状、国内のリゾート地の特徴、国際観光やMICEとリゾートのかかわり、について学びます。

到達目標

| | |
|----------|---|
| a. 知識・理解 | ・リゾートの定義について説明できるようになる。 ・リゾートの歴史的な変遷を具体的に説明できるようになる。 |
| b. 思考・判断 | ・国内外のリゾート事業の特徴を理解し、課題について述べるができるようになる。 |
| c. 関心・意欲 | ・リゾート事業のマネジメントを自分のキャリアと関連して考えることができるようになる。 |
| d. 技能・技術 | ・観光産業に関連する資格取得に挑戦することができるようになる。 |
| e. その他 | ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることができるようになる。 |

提出課題

- ・毎回、授業内容の課題について回答を書いてもらいます。
- ・授業内容から、あるいは自分の考えを整理してまとめて提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

- ・課題の回答から読み取れる皆さんからの疑問や捉えた理解に対して、次週の授業のはじめに解説、修正します。
- ・質問欄に書かれた質問に対する答えも回答します。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1（5回）以上を欠席すると期末テスト（あるいはレポート提出）の受験資格（単位）はありません。
- ・評価については、毎回の課題レポート提出、授業態度など40%、期末テスト（または期末レポート）60%として、総合評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業で学ぶ基本は重要ですが、観光に関する情報は日々変化しますので、常に新聞等で新しい観光の情報は入手してください。
- ・授業態度に関する注意は次の通りです。
- ・出席指定を行う予定です。
- ・授業中の許可した時間以外の携帯・スマホの使用は禁止します。減点対象。
- ・そのほか私語、着帽等は許可しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。

教科書

| | | | | |
|---------|--|--|--|--|
| ・使用しない。 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

プリント資料及び参考文献

- ・必要に応じてプリントを配布します
- ・参考文献・・・必要に応じて紹介します。

授業計画

1. はじめに
リゾートとは（定義、概念）
- 2.リゾートの歴史
世界と日本
- 3.リゾート法（総合保養地整備法）
成立の背景
- 4.海外旅行とリゾート
日本の海外旅行とリゾートの関係
- 5.海外リゾート①・スキーリゾート
スイス/オーストリア
- 6.海外リゾート②・ビーチリゾート
ヨーロッパ、太平洋
- 7.発展途上国のリゾート①・開発スキーム
インドネシア/リゾート開発
- 8.発展途上国のリゾート②
フィリピン/タイ
- 9.国内リゾート①・スノーリゾート
北海道
- 10.国内リゾート②・ビーチリゾート
沖縄/石川
- 11.国内リゾート③・温泉地
福岡
- 12.リゾートの新しい潮流②・IR（カジノを含む統合型リゾート）
IRの現状と課題
- 13.リゾートの新しい潮流①・クルーズ
リゾートとしてのクルーズ
- 14.国際観光におけるリゾートの役割
国際観光客の動き
- 15.まとめ、リゾート事業の課題と展望

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・毎回の授業内容が変わるため、必ず予習、復習が必要です。
- ・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。

具体的には

- ・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。2時間程度
- ・予習として、次回の授業範囲をよく読み内容を整理してください。2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

リゾートとは、そもそも何なのか、その歴史や意義、世界のリゾート地の成り立ちを多角的に分析して、リゾートの概観と歴史、海外のリゾート地の開発形態と現状、国内のリゾート地の特徴、国際観光やMICEとリゾートのかかわり、について学び、リゾートの全体を理解することで、日本のリゾートについて学ぶことができる。リゾート経営の方法や事例から、日本におけるリゾートについての在り方を考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この授業は現状では、対面授業で出欠や課題提出でICTを活用することがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり

- ・近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリューション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学院で学んだ「観光による地域活性化」について一補に考えます。また、タイのバンコクでの4年間の駐在経験をもとに、海外で働くことの意義や海外から日本を見ることの大切さも伝えます。

備考

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。